

## 「奈良応援せんと実行委員会」が 義援金を贈呈

昨年の3月11日に発生した東日本大震災で被災した文化財を救出するため、官民あげての文化財レスキュー事業（被災文化財の保全、救出、応急措置等をおこなうもの）がおこなわれています。

このような状況の中、文化財の宝庫であり、文化財の保護に理解と関心の深い「奈良」だからこそできることはないかと考え、奈良県内の文化財、教育等の関係機関・団体、企業等が連携し「文化財レスキュー応援せんと！」実行委員会を昨年の6月に設立しました。

実行委員会では、文化財レスキュー事業等への支援をおこなうために、それぞれが有する力を「奈良の力」として結集し、県内各所での募金活動をはじめ、公開講演会等での売上代の寄附、チャリティー事業の開催等をおこないました。その結果、3月までに、9,253,246円の義援金を集め、公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団（平山財団）をはじめ、文化財保護の活動をおこなっている団体へ寄附しました。

寄附した義援金は、専門家の現地への派遣、支援物資の購入、冷蔵倉庫等の一時保管場所の確保、真空凍結乾燥等の応急処置等に充てられており、また、今後おこなわれる本格的な修理にも充てられる予定です。

実行委員会としての活動は3月で終了しましたが、被災文化財の救援、修復は、まだまだ息の長い活動になりますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

（研究支援推進部 田中 康成）



松村所長から平山財団への義援金の贈呈